

自分の声ソフトウェア「ボイスター」/「コノコエ」

概要

ボイスターは、個人の声を合成できる高品質な「個人音声合成ソフトウェア」です。これまで、喉頭がんや咽頭がん、もしくはALS等の神経難病などで本来の声を失われる方を中心に、「第二の自分の声」として提供してきました。新発売の明瞭音声合成ソフト「コノコエ」は、先天性・突発的な傷病による発話障害にも対応します。

特徴

- ボイスターは、大切な「あの声」をそのまま再現する肉声感の高い音声を生成します。400～1000文の音声と、大切な人の名前や心を込めたフレーズの収録を行います。
- コノコエ※は、発話障害による不明瞭な声から、聞き取りやすくその人らしい音声を生成します。80文程度の収録なので、体への負担が軽く、費用面も抑えられます。
- ATR音声言語コミュニケーション研究所の「波形素片接続型音声合成システムXIMERA」により、肉声感の高い音声を作れます。

今後の展開

- 引き続きボイスターの周知・提供を進めるとともに、コノコエの利用者増に向けて、事例創出や身体障害に合わせた入力方法の拡充、医療・リハビリ・介護施設との連携を推進します。

テーマ「万博、そしてその先へ ～科学技術が描く未来～」との関連

- 声を失うことによるアイデンティティの喪失や、声が不明瞭なことによる社会進出の阻害という問題を、音声合成技術を通して乗り越え、誰もが公平で自分らしく生きられる未来を実現します。

